

現代日本の大学キャンパスにおけるゲート建物による正門付近の空間構成

正会員 〇 佐熊勇亮*
同 安森亮雄**

大学キャンパス 正門 建物配列
空間構成

1. 序

従来の日本の大学キャンパスは広大な敷地にありながら画一的な校舎による閉鎖的な空間であったが、近年は少子高齢化を背景に大学の個性や地域開放が求められ、魅力的なキャンパス空間の創出が課題となっている。特に正門の付近は大学の顔としてシンボルとなる建物が位置したり、また地域との接点となる広場が形成されるなど重要な空間となっている。そこで本研究では、現代日本の大学キャンパスにおいて、正門に面し多数の利用者に供される学生会館や大講義室などの建物（以下、ゲート建物^{注1}）とその周辺の建物の配列を検討し、正門付近の空間構成を明らかにすることを目的とする。

2. 大学キャンパス正門におけるゲート建物の配列

2.1. ゲート建物の配列と通過動線 大学キャンパスでは正門に面し多数の利用者が利用するゲート建物がみられ、他の建物とともに広場を囲むなど特徴的な空間が形成されている。例えば図の分析例では、ゲート建物が正門と一体化し、建物を通してキャンパス奥の囲まれた広場へと至る。そこでまず正門に面する建物について、広場を囲むか前面道路に沿って並列されるかという配列を、前庭の有無と併せて検討した（表1）。その結果、広場を囲む配列が過半数を占め（55/69 作品）、前面道路に沿って建物が配列されているものや、キャンパスの建物群と独立して配置されているものもみられた。また、正門に対するゲート建物の配置（表2）、通過動線（表3）について検討した結果、配置は正門の側面に建つものが多く（s, 48/69）、ゲート建物を通してキャンパス内にアプローチする主要動線を含むものもみられた（o, 13/69）。

2.2. ゲート建物の配列パターン 前節で検討したゲート建物の配列と通過動線を併せて検討したところ、6つの配列

パターンが得られた（表4）。パターンAはゲート建物が正門の正面に建ち、他の建物とともに広場を囲む配列で、建物を通じた後に囲まれた空間があるA1、囲み空間の奥に建つA2がみられた。また囲まれた空間を形成しながらゲート建物が正門の側面に建つI、前面道路に沿って並ぶ建物も併せもつU、前面道路に沿って建物が並び補助動線があるE、キャンパスの建物群と独立した配置のOがみられた。

3. ゲート建物の構成

大学キャンパスのゲート建物ではピロティなどの外形の形状や、庇や基壇などの付随的な要素によって建物周りの外部空間を分節したり、大開口により建物内部と連続するなど特徴的な構成がみられる。例えば分析例（図）のゲート建物では主要動線が通過するピロティがあり、大開口によって脇にある内部のホール状の図書閲覧室と連続している。そこでピロティやL字などの外形ヴォリュームと、庇や基壇などの付随要素といった外部空間を分節する建物の構成を検討した（表5）。その結果、庇や基壇などの付随要素をもつものが多く、敷地境界に対してあまり制限されない大学キャンパスの建物の特徴と考えられる。これには、付随要素があるとともピロティなどにより断面的に外部空間が分節されるA、L字などの平面形状により外部空間が分節されるB、付随要素のみをもつCがみられ、また付随要素がなく断面的に外部空間が分節されたDも少数該当した。また幾何学形や大開口といった外形の特徴を検討した結果、大開口があるもの（表6、開, 32/69）が多かった。

4. ゲート建物による正門付近の空間構成

2章で得られた大学キャンパス正門に面する建物の配列パターンと3章で得られたゲート建物の構成を2軸としてマトリクスを作成し、資料が集中した空間構成として8つの類型が得られた（表7）。類型①、②は正門の正面に建つ構成で、

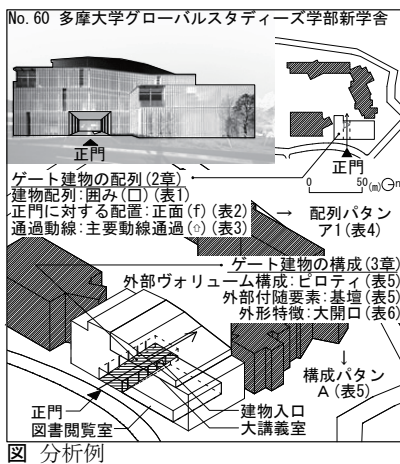


表1 ゲート建物と他の建物の配列

前面道路沿いの建物配列	並列 (28)	独立 (41)
囲み	□ (21)	□ (34)
囲み有り (55)	□ (21)	□ (34)
他の建物	□ (21)	□ (34)
ゲート建物	□ (21)	□ (34)
前庭あり* (4)	□ (4)	□ (9)
前庭あり* (9)	□ (4)	□ (9)
前庭あり* (3)	□ (4)	□ (3)
前庭無し (14)	□ (14)	□ (7)

表注) ()の数字は該当する資料数を示す。(全69資料)

表1付図

前庭 有り (*, 16)

表2 正門に対する配置

正面 (f, 21) 側面 (s, 48)

表3 ゲート建物の通過動線

主要動線通過 (o, 13)	補助動線通過 (↑, 13)	主要動線非通過 (T, 43)
----------------	----------------	-----------------

表5 外部空間を分節するゲート建物の構成

外形ヴォリューム (69)			
断面分節+平面分節 (10)	断面的分節 (20)	平面的分節 (19)	無し (20)
A (21)	B (18)	C (18)	D (9)
基壇のみ (4) 面方 (2)	庇のみ (1) 基壇のみ (12) 面方 (2)	庇のみ (5) 基壇のみ (1) 面方 (10)	庇のみ (1) 基壇のみ (1) 面方 (1)
有り (67)	有り (67)	有り (67)	有り (67)
無し (12)	無し (12)	無し (12)	無し (12)

表6 外形ヴォリューム特徴

幾何学形 (幾, 17)	大開口 (開, 32)
--------------	-------------

①は基壇があるピロティを通過して建物で囲まれた広場へと続くもの、②は広場の奥にピロティと基壇をもつ建物があるものである。③、④はゲート建物が囲まれた広場の側面に建つもので、③は広場に対してピロティや基壇を出すもの、④は底と基壇があり幾何学形をなすものである。⑤、⑥はゲート建物が広場の側面に建ちつつ、前面道路に沿って他の建物が並ぶもので、⑥は底を出すもの、⑤は底や基壇を出しL字状の外形ヴォリュームにより外部空間を分節するものである。また、前面道路に沿って建物が並び底を出して大開口がある⑦、キャンパスの建物群から離れて建ち、前庭や底によるテラスを伴う⑧もみられた。

これらの類型を共通する性格で整理すると、①、②は正門正面に建つゲート建物が広場を囲みながら、広場の手前や奥でピロティや基壇による多様な外部空間を形成するもので、「正門正面のゲート建物による段階的な広場の構成」といえる。③～⑥は正門側面に建つゲート建物が広場を囲み、底などの付随要素をもつことが共通し、「正門側面の

ゲート建物による緩衝領域としての広場の構成」といえる。これらに対して⑦は「ゲート建物による前面道路沿いの街並みの構成」、⑧は「独立したゲート建物周囲に外部空間を形成する構成」といえる。

5. 結

大学キャンパス正門付近の空間構成を建物配列とゲート建物の構成から検討した。その結果、正門正面のゲート建物による段階的な広場の構成、正門側面のゲート建物による緩衝領域としての広場の構成、ゲート建物による前面道路沿いの街並みの構成、独立したゲート建物周囲に外部空間を形成する構成といった大学キャンパス正門付近の空間構成を明らかにした。

注) ゲート建物とは、大学キャンパスの正門に直接面する建物のうち、大学会館、図書館、美術館、大講義室などのホール状の空間をもち多数の利用者に供される建物である。特に本研究では意匠上重要な建物として建築誌に発表されている作品を対象とし、代表的な建築誌のひとつである「新建築」誌において1950-2009年に掲載された作品のうち、一建物のみのキャンパスや図面の資料が充分でないものを除いた69作品を資料とした。

表4 ゲート建物の配列パターン

No.	作品名	建物の配列	正門通過する配置対称	配列パターン	
26	新潟産業大学人文学部校舎棟	○	f	A1 (9) ゲート建物 主要動線あり	
3	武蔵野美術大学本館	○	f		
16	大谷大学講堂	○	f		
24	早稲田大学久保C理工学総合研究センタ-研究棟	○	f		
29	京都精華大学キャンパス (増設)	○	f		
44	東京大学駒場II地区キャンパス	○	f		
46	日本大学生物資源科学部新本館	○	f		
60	多摩大学グローバルスタディーズ学部新学舎	○	f		
69	京都大学福盛財団記念館	○	f		
6	大阪芸術大学11号館	○	f		A2 (5)
1	名古屋大学豊田講堂	○	f		
7	日本大学理工学部習志野図書館	○	f		
34	広島女子大学附属図書館	○	f		
47	武蔵工業大学再生7号館/SAKURACENTER#14	○	f		
13	武蔵野美術大学10号館 (BOM)	○	f	I (17)	
23	早稲田大学戸山キャンパス図書棟	○	f		
48	大東文化大学板橋C中央棟-図書館	○	f		
15	日本大学理工学部 理工スポーツホール	○	f		
17	北海道工業大学図書館	○	f		
19	白百合女子大学聖堂	○	f		
22	四天王寺国際仏教大学2号館	○	f		
4	東京女子大学研究本館1・2号館	○	f		
9	法政大学学生会館	○	f		
11	東京経済大学 葵陵会館	○	f		U (12)
14	慶應義塾図書館・新館	○	f		
18	東京工業大学百年記念館	○	f		
20	大同工業大学図書館	○	f		
31	東京家政大学 教育会館・小講堂・大学8号館	○	f		
38	作新学院大学	○	f		
52	学校法人三聖戸学園 東邦音楽大学 ランダール	○	f		
55	武蔵工業大学新図書館#9	○	f		
57	成蹊大学情報図書館	○	f		
59	多摩美術大学附属図書館	○	f	E (4)	
62	工学院大学八王子学生センター	○	f		
2	早稲田大学理工学部新館	○	f		
67	武蔵野美術大学4号館 保存改修	○	f		
50	京都大学百年時計台記念館	○	f		
27	日本大学理工学部先端材料科学センター	○	f		
33	東京芸術大学奏楽堂	○	f		
35	文教大学センターハウス3号館	○	f		
39	工学院大学八王子キャンパス15号館	○	f		
25	明治学院大学本館	○	f		O (5)
45	相模女子大学100周年記念館マーガレットホール	○	f		
28	山梨学院大学大学院棟	○	f		
42	津田塾大学100周年記念津田梅子記念交流館	○	f		
5	金沢工業大学土木工学館	○	f		
10	聖心女子大学同窓会館	○	f		
21	名城大学新図書館	○	f		
36	東京藝術大学美術館	○	f		
37	早稲田大学久保C新研究棟/メテオナ-センター	○	f		
40	東京大学弥生講堂 一条ホール	○	f		
49	東京大学法学部系教育棟	○	f		
56	神奈川工科大学情報学部棟	○	f		
61	東北公益文科大学酒田キャンパス 公益ホール	○	f		
64	東京大学弥生講堂 アネックス	○	f		
30	山口大学医学部創立50周年記念会館	○	f	I (4)	
53	横浜市立大学 交流プラザ	○	f		
63	東京大学情報学環・福武ホール	○	f		
68	慶應義塾 (日吉) 第4校舎独立館	○	f		
8	同志社大学図書館	○	f		
32	早稲田大学書庫一八記念博物館 旧図書館改修	○	f		
43	京都大学総合博物館	○	f		
51	立正大学総合学術情報センター	○	f		
66	東工大蔵前会館 TOKYO TECH FRONT	○	f		
12	武蔵野音楽大学パティオ	○	f		
41	關東学院大学健康管理センター	○	f		
58	東京大学柏図書館	○	f		
54	京都大学医学部百年記念施設 芝蘭会館	○	f		
65	京都大学百年記念会館 川内萩ホール	○	f		

表4,7注) 表中の記号は表1-3,表5,6に準ずる。

表7 ゲート建物による正門付近の空間構成

断面分節 (+平面分節) +付随	平面的分節+付随要素	付随要素	断面分節 (+平面)
A (21)	B (18)	C (18)	D (9)
3 階 16 階 26L 階 29 階 44 階 46 階	1 階 6 階 34 階 47 階	18 階 4 階 15 階 57 階 19 階 38 階 52 階	31L 階 15 階 57 階 19 階 38 階 52 階
①	②	③	④
正門正面のゲート建物による段階的な広場の構成		正門側面のゲート建物による緩衝領域としての広場の構成	
⑤		⑥	
ゲート建物による前面道路沿いの街並みの構成		独立したゲート建物周囲に外部空間を形成する構成	
⑦		⑧	

* 宇都宮大学大学院工学研究科 大学院生
** 宇都宮大学大学院工学研究科 准教授 博士 (工学)

* Graduate Student, Graduate School of Engineering, Utsunomiya University
** Assoc. Prof., Dr.Eng., Graduate School of Eng., Utsunomiya University